



旭二中学校便り 号外



令和7年3月14日発行  
旭市立第二中学校  
TEL 0479-62-0049  
FAX 0479-64-0049

## 学校教育活動に関するアンケート

実施期間 令和6年12月23日～令和7年1月22日  
実施対象 生徒・保護者・職員  
実施方法 Webによる回答

### I アンケートの概要について

12月～1月にご協力いただきました学校教育活動アンケートについて、保護者、職員生徒の回答から成果と課題について項目ごとにまとめました。評価結果やご意見を学校運営の改善に生かせるよう努めて参ります。

【アンケート回収率及び評価の規準】

	生徒	保護者	職員
回収率	88.1%	70.3%	100%

今年度は回答方法を Web のみとした結果、回収率が昨年度よりも低下してしまいました。アンケートの実施方法については再度検討していきます。

回答は以下の5択とし、5と4を肯定的意見としました。

5	4	3	2	1
満足・充実	ほぼ満足・充実	やや不満足・要努力	不満足・努力不足	わからない

### II アンケート集計結果及び考察について 保：保護者 職：職員 生：生徒

肯定的評価が85%以上でA(満足できる)、70～84%でB(ほぼ満足できる)、50～69%でC(やや努力が必要である)、49%以下でD(努力が必要である)を自己評価としました。

#### 1 学校運営、教育課程に関すること

分野・領域	評価項目	肯定%	自己評価
学校運営 教育課程	保：お子様は学校に行くのを楽しみにしている。	83.4	B
	職：生徒は学校に行くのを楽しみにしている。	100	A
	生：学校に行くのが楽しみだ。	72.9	B
	保：教育目標は、生徒の実態に即し、誰にでもわかりやすくなっている。	84.7	B
	職：教育目標は、生徒の実態に即し、誰にでもわかりやすくなっている。	100	A
	保：学校は行事を適切に設定し、有意義なものになるように工夫している。	93.4	A
	職：学校は行事を適切に設定し、有意義なものになるように工夫している。	100	A
	生：学校行事は楽しく、充実している。	93.5	A

「学校に行くのを楽しみにしている」という項目について、保護者と職員は概ね肯定的な回答が多い結果となりました。それに比べて、生徒の肯定的回答が少ないことから、学校経営方針にもある「希望の登校」「満足の下校」を全生徒が感じられるよう、日頃のコミュニケーションを重視し、生徒と生徒、生徒と教師との信頼関係をさらに深めていく必要があります。

学校教育目標については、「わからない」という保護者の回答が 10.6%ありました。学校だよりとホームページでお知らせしていますが、周知方法について再度考えていく必要があります。

学校行事については、保護者、生徒、職員すべての評価が 90%以上となり、行事の内容が充実していることがわかります。

## 2 学習指導、家庭学習に関すること

分野・領域	評価項目	肯定%	自己評価
学習指導 家庭学習	保：学校は学力の向上に努めている。	79.7	B
	職：学校は学力の向上に努めている。	95.8	A
	生：学力向上を目指して、授業に意欲的に取り組んでいる。	81.5	B
	保：学校は、家庭学習の習慣が身につくよう支援している。	84.7	B
	職：学校は、家庭学習の習慣が身につくよう支援している。	100	A
	生：家庭学習の習慣が身についている。	64.9	C
	保：学校は、生徒の自己実現に向けた支援や進路指導を適切に行っている。	77.4	B
	職：学校は、生徒の自己実現に向けた支援や進路指導を適切に行っている。	100	A
	生：将来の進路を考え、その実現を目指して努力している。	64.3	C
	保：お子様は落ち着いて学習に取り組んでいる。	72.2	B
	職：生徒は落ち着いて学習に取り組んでいる。	89.6	A
	生：落ち着いて学習に取り組んでいる。	85.7	A
	保：お子様は読書の習慣が身についている。	36.7	D
	職：生徒は読書の習慣が身についている。	54.2	C
	生：読書の習慣が身についている。	50.6	C
	保：学校は ICT 機器を活用し、授業の充実に取り組んでいる。	64.1	C
職：学校は ICT 機器を活用し、授業の充実に取り組んでいる。	52.1	C	
生：学校生活の中で、ICT 機器を活用している。	74.3	B	

学習については、家庭学習と読書の習慣化、ICTの利活用についてが大きな課題となりました。学校では、家庭学習の習慣が身に付くよう各学級で提出を求めたり、マイスターテストに向けた取組を家庭学習で行うよう指導したりしています。学力向上のためには、家庭で学習する習慣が欠かせません。今後も学習内容の助言も含め、習慣化できるよう支援していきます。

旭二中では、子どもたちに必要な読解力を身に付けるためにも、毎朝10分間の朝読書に取り組み、生徒の自主的、自発的な読書活動の充実を推奨しています。しかし、スマートフォンやインターネットの普及に伴い、読書離れが進んでいることがアンケートの結果からも感じられます。次年度は、読解力の向上を目指した新たな取り組みを検討中です。また、読み聞かせボランティア（ドリームテラズ）の協力により実施している朝の読み聞かせも継続して行う予定です。

全生徒に端末が配付され、ICTを活用した学びが推奨されています。ICTの活用については、指導方法の研修を行うなど、授業の充実につながる取組ができるよう努めているところです。新しいものを取り入れ、効果的な学習となるよう継続して研修に取り組めます。

授業での学習については、アンケートの結果から、落ち着いて取り組むことができている生徒が多いことがわかります。

### 3 生徒指導、教育相談、特別支援に関すること

分野・領域	評価項目	肯定%	自己評価
生徒指導 教育相談 特別支援	保：生徒は明るい挨拶やしっかりとした返事ができている。	80.7	B
	職：生徒は明るい挨拶やしっかりとした返事ができている。	62.5	C
	生：明るい挨拶やしっかりとした返事ができる。	90.0	A
	保：学校は基本的な生活習慣の向上に努めている。	86.9	A
	職：学校は基本的な生活習慣の向上に努めている。	91.7	A
	生：服装や時間など、学校生活のきまりを守って生活している。	94.2	A
	保：学校は生徒の相談に対し、適切に対応している。	73.9	B
	職：学校は生徒の相談に対し、適切に対応している。	97.9	A
	生：自分のことを理解してくれる先生や、相談しやすい先生がいる。	85.2	A
	保：学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	68.5	C
	職：学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	95.8	A
	生：差別なく、いじめや人の嫌がることをしないようにしている。	95.4	A
	保：学校は、特別な配慮や支援が必要な生徒に、適切な指導・支援を行っている。	65.1	C
	職：学校は、特別な配慮や支援が必要な生徒に、適切な指導・支援を行っている。	93.8	A
生：学校は、特別な配慮や支援が必要な生徒に、適切な指導・支援を行っている。	82.8	B	

「学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる」という問いでは18.1%、「学校は、特別な配慮や支援が必要な生徒に、適切な指導・支援を行っている」という問いでは29.3%の保護者の方が「わからない」と回答していたことが、肯定的評価が少なくなる結果につながりました。「いじめのない学校づくり」については、「学校いじめ防止基本方針」を定め、学校全体で取り組んでいます。ホームページにも掲載していますが、さらなる周知が必要だと感じます。特別な配慮を要する生徒への対応については、合理的配慮の申請について全校生徒に周知し、取り組んでいるところです。学校の取組について保護者の皆様にもっと知っていただけるよう、広報活動の充実に努めていきます。

### 4 健康管理、安全管理、部活動に関すること

分野・領域	評価項目	肯定%	自己評価
健康管理 安全管理 部活動	保：学校は生徒の健康管理、体力の向上に十分取り組んでいる。	86.1	A
	職：学校は生徒の健康管理、胆力の向上に十分取り組んでいる。	97.9	A
	生：健康管理や体力の向上に十分取り組んでいる。	83.7	B
	保：学校は登下校や学校生活の安全管理、指導に十分取り組んでいる。	85.7	A
	職：学校は登下校や学校生活の安全管理、指導に十分取り組んでいる。	95.8	A
	生：学校は登下校や学校生活の安全管理、指導に十分取り組んでいる。	94.0	A
	保：部活動の練習内容や日程、活動時間等、運営は適切に行われている。	75.7	B
	職：部活動の練習内容や日程、活動時間等、運営は適切に行われている。	97.9	A
生：部活動の練習内容や日程、活動時間等、運営は適切に行われている。	84.9	B	

部活動に関しては、自由記述でも多くのご意見をいただきました。体力や技能の向上だ

けでなく、異年齢との交流における人間関係の構築、学習意欲の向上、自己肯定感や責任感、連帯感の育成など、部活動をとおして子どもたちが得るものはたくさんあります。今後も部活動ガイドラインに沿って活動が進められるよう全職員で再度共通理解を図ります。

健康管理と安全管理については概ね高い評価となりました。今後も継続して安心・安全な学校づくりに努めます。

## 5 保護者・地域との関わりに関すること

分野・領域	評価項目	肯定%	自己評価
保護者・地域との関わり	保：学校は、保護者に対して誠実に対応し、訪問しやすい雰囲気になっている。	92.9	A
	職：学校は、保護者に対して誠実に対応し、訪問しやすい雰囲気になっている。	100	A
	保：学校は保護者の意見を参考にしながら、改善に努めている。	78.4	B
	職：学校は保護者の意見を参考にしながら、改善に努めている。	100	A
	保：学校とPTA、地域との連携が図られている。	72.0	B
	職：学校とPTA、地域との連携が図られている。	97.9	A

保護者に対する対応については概ね高い評価をいただきました。今後も家庭と学校が連携し、子どもたちの個性や悩みに対応していきます。

地域との連携については、今年度よりコミュニティ・スクールとしての取組が始まり、深まっていくことが期待されます。紫援隊をはじめとした地域学校協働活動の取組を学校教育の様々な場面で活用し、地域の教育力を活かした教育の推進を図ります。

## Ⅲ 保護者アンケートのご意見より

<p>△朝、自転車の乗り方が危ないと思う時がありハラハラします。通学時間帯と通勤時間帯が重なり、交通量が多いので事故にあわないか心配です。</p> <p>⇒交通安全については大きな課題となっています。学校でも集会等の全校生徒が集まる場において、交通安全担当教諭から全体指導を行い、随時各学級にて学級担任も指導を行っています。今後も継続して交通安全指導に取り組みます。</p> <p>△部活動で勝つことに重きを置くのではなく、仲間との関わりや、経験、体験にも重きを置いて欲しい。</p> <p>⇒今後も部活動ガイドラインに沿って行います。部活動を通して子どもたちが成長できるよう支援を継続します。</p> <p>△令和6年度の体育祭で雨天用プログラムとなり部活動行進やリレーがなくなってしまったのが残念でした。</p> <p>⇒今年度は準備等の関係で雨天用プログラムでの実施となりました。行事は子どもたちにとって大きな成長の場です。次年度も旭二中の行事が充実したものとなるよう努めて参ります。</p>
---

## Ⅳ 学校関係者評価について

<p>学校関係者評価とは、自己評価と今後の方策が適切かどうかを学校運営協議会の場で評価していただくものです。概ね適切であると評価していただきました。詳細はホームページに掲載していますので、QRコードもしくはurlからご確認ください。</p>
--

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/jhs-asahidai2/files/R6kankeishahyouka.pdf>

